

平成23年度 牛久第二小学校グランドデザイン

教育目標：ともに「あ・し・た」をめざすかしこい子

ーあいさつができ、しんせつで、たくましく、かしこい子どもの育成ー

〈めざす子どもの姿〉

《力のある子ども》

- ・自ら学び共に学び合う子
- ・けじめがある子
- ・健康で体力のある子

〈めざす学校の姿〉

《一人一人のよさを認め合い、共に伸びゆく学校》

- ・子どもが主役の学ぶ楽しさを味わえる学校
- ・けじめがあつていじめがない学校
- ・きれいで安全な学校

〈めざす教師の姿〉

《教育に情熱を注ぎ児童愛に燃える教師》

- ・教えるプロとしての自覚と力量のある教師
- ・豊かな感性をもち人間的な温かみのある教師
- ・保健安全への意識が高く、心身ともに健康な教師

中期経営ビジョン

- ・「あいさつ」「しんせつ」「たくましさ」「立腰」「無言清掃」を重点課題としたこれまでの取り組みを踏まえ、平成22年度から3年間の経営ビジョンを示す。
- ・「明るく元気な学校」を求めるのではなく、一人一人が自然体で穏やかに生活し、「安心して学び合える学校」を追求する
- ・「授業づくりを核とした学校経営」を基に「人と人がかかわり合う温もりのある学び」を実践し、「学ぶ喜びや人間性のある豊かな学力」を形成する。
- ・「学校の主役は子ども、それを光らせるのは担任、それを支えるのが周りの教職員、教務、教頭、校長である」ことを基本理念とし、学年主任を始めとする各主任がリーダーシップを発揮し、PDCAサイクルを重視し、課題解決に向けて、不断の改善に努める。

1 学力の向上を図る 2 支持的風土を確立する 3 体力の向上を図る 4 開かれた学校づくりを推進する

今年度の重点目標

学び合える学習集団をそだてる

- ・学びを中心とする授業を実践する。
- ・教育の専門家として育ち合う同僚性を形成する。
- ・保護者の学習参加を促す。

心と心をつなぎ、弱さで支え合う集団を育てる

- ・学びを通して他者の喜びや苦しみを分かち合い、安心して依存し合える関係を築く。

組織目標

「かかわり」と「つながり」によって、一人一人の学びを尊重する授業をつくる。

重点施策

- ・質の高い学びのある授業をめざす。
- ・個人テーマを設定して研究を進め、年度末には校内発表会を実施する。
- ・活動参加型や教師サポーター型の保護者の学習参加を進める。

- ・「ねえ、これどうするの」と問い合い、答え合う互いにケアし合える集団をつくる。
- ・すべての教科で子ども同士をつなぎ合わせる中で、自尊感情や共感力を育てる。

地域と共に学校づくりを進める

- ・家庭や地域の教育力を活かし、地域や保護者と協力しながら郷土に愛着をもつ児童を育てる。
- ・地域と交流する場づくりを進める。
- ・地域に貢献する活動を進める。